

浅水管理・飽水管理で

分けつ発生促進

6月10日に実施した水稻生育調査では、草丈やや短い、茎数少ない、葉数やや遅れという結果でした。春先の多雨、日照不足が影響したと見られます。

分けつを増やしていかなければ穂数不足で減収となってしまいます。

今後は、「浅水管理」「飽水管理」で昼夜の気温差を大きくし、分けつ発生を促してください。

【プラス】

ガス抜き落水の実施。一晩から24時間程度田面を露出させるだけOKです。今年はずでにワいています。

※ただし、除草剂等農薬散布後、7日間は落水禁止期間ですのでその後実施してください。



飽水管理は、田面が高いところが露出する程度でOKです。田面露出部分が乾かないように入水をして、土壌の湿潤状態を保ちます。



例: ほ場の水持ちが2~3日程度の飽水管理

1回の湛水量3cm程度

足跡や溝に水が残っているうちに再び湛水する

この水管理を繰り返す

